

継続的監査



GTAG 3 (I T 監査の国際的ガイダンス 3)

このガイドの内容

- 今日の内部監査環境における継続的監査の役割
- 継続的監査、継続的モニタリング、継続的アシュアランスの関係
- 継続的監査の適用と実施
- 継続的、統合的アプローチの利点

継続的監査の役割

- 今日の監査の諸問題
 - 法規制の遵守およびコントロール
 - 内部監査の価値および独立性
 - スキルの高い人材の可用性
 - 適切な技術的ソリューション(解決策)の決定
- リスクマネジメントとコントロールシステムについての適時かつ継続的アシュアランスの必要性
- 継続的監査の役割
 - コントロールの不備とリスクをよりよく管理するための、より一層頻繁で適時な分析の提供

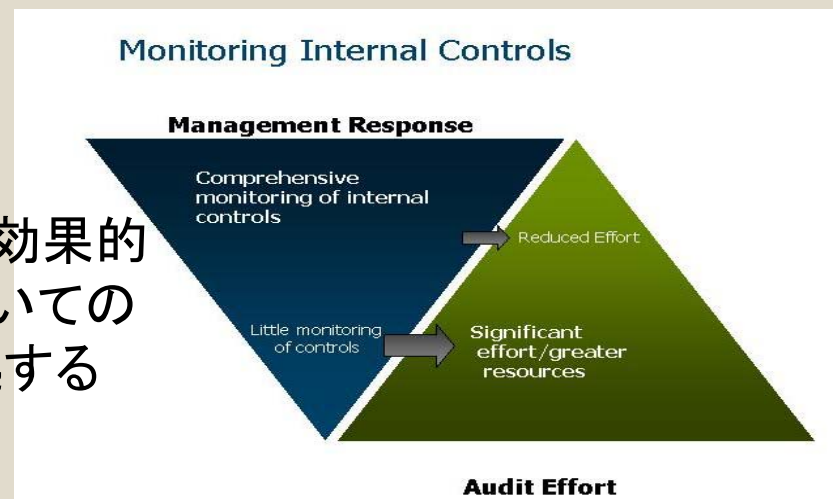
明確化:いくつかの定義

- 継続的監査
 - 継続的に監査関連活動を実施するために用いられる方法—コントロールおよびリスク評価を含む
 - 内部監査部門によって実施される
- 継続的モニタリング
 - ポリシー／プロセスの効果的な運用を確実にし、コントロールの適切性／有効性を評価するためのプロセス
 - 業務／財務部門の経営管理者により実施され、独立的にマネジメント活動の適切性を監査部門が評価する
- 継続的アシュアランス
 - 継続的監査と継続的モニタリングの見過ごしについての監査を組み合わせる

継続的監査／モニタリング／アシュアランスの関係

- コントロールの継続的モニタリングにおける経営管理者の役割に依存する継続的監査の役割
 - 逆の関係：経営管理者の役割が大きければ大きいほど内部監査の直接の役割が小さくなる

- 真の継続的アシュアランス
 - 経営管理者による内部統制の効果的なモニタリングとその機能についての監査部門の独立的評価に依拠する



適用分野

- 継続的なコントロール評価
 - コントロールの不備の識別
 - 不正、無駄、乱用の識別
- 継続的リスク評価
 - プロセスの一貫性の検証
 - 全社的監査計画の整備
 - 個々の監査のサポート
 - 監査勧告のフォローアップ

実施の主要ステップ

- 監査の目的および要件の設定
- 役員レベルの支援の確保
- どの経営管理者がモニタリングの役割を実施するかについての確証度
- 適切な技術的解決方法の選択
- 情報源の識別およびアクセス
- 業務プロセスの理解および主要コントロールと主要リスクの識別
- 監査スキルセットの確立
- 結果の管理と報告

利点

- 監査活動の範囲拡大
- リスク低減能力の増大
- 内部統制評価コストの低減
- 財務報告への信頼の向上
- 財務運用の改善
- 財務的エラーおよび不正のおそれの低減
- 収益漏れの減少による決算の改善
- コンプライアンスを支援する持続可能かつコスト効果のある方法